

PowerAct Pro IIS移行手順書

2023年3月

オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社

IoT ソリューション事業本部

目次

■本書の表記について	2
■はじめに.....	3
■免責事項.....	3
1. 構成情報	4
2. 使用中のWebサーバの確認.....	5
2.1 PAPro用のファイルの存在有無の確認(【A】および【B】)	5
2.2 IISのインストール有無の確認(【C】)	6
2.3 確認結果による判定	7
3. 作業手順.....	8
3.1 バッテリ情報の確認	9
3.2 設定情報ファイルの保存.....	11
3.3 PAProのアンインストール.....	12
3.4 Apacheのアンインストール.....	13
3.5 IISの有効化と設定	14
3.6 PAProのインストール.....	18
3.7 PAProのエージェントを停止	19
3.8 設定情報ファイルのコピー.....	19
3.9 PAProのエージェントを起動	20
3.10 PAProの画面が表示できることの確認.....	20
3.11 バッテリ情報の更新.....	21

■本書の表記について

本書では、以下の表記を使用しています。

表記	意味
[]	WindowsやPAProのメニューなどを表します。 (例)[Windows管理ツール] - [サービス]
「 」	ファイル名やフォルダ名を表します。 (例)「httpd-2.4.55-win64-VS17.zip」
『 』	サービスの名称や機能の名称などを表します。 (例)『Apache2.4』
PAPro	PowerAct Pro Master Agent Windows版。
IIS	Microsoft Internet Information Services。 Windows用のWebサーバであり、Windowsにインストールすることで使用できる。
Apache	Apache HTTP Server。 Ver.5.15以前のPAProにインストールプログラムを同梱しているWebサーバ。

■はじめに

本書は、PAProをApacheとともに使用している環境において、WebサーバをApacheからIISに移行するための手順について示したものです。

現在、PAProをApacheでご使用いただいている場合は、本手順書をご参照いただき、Windows用の標準WebサーバであるIISに移行いただくことをご検討ください。

■免責事項

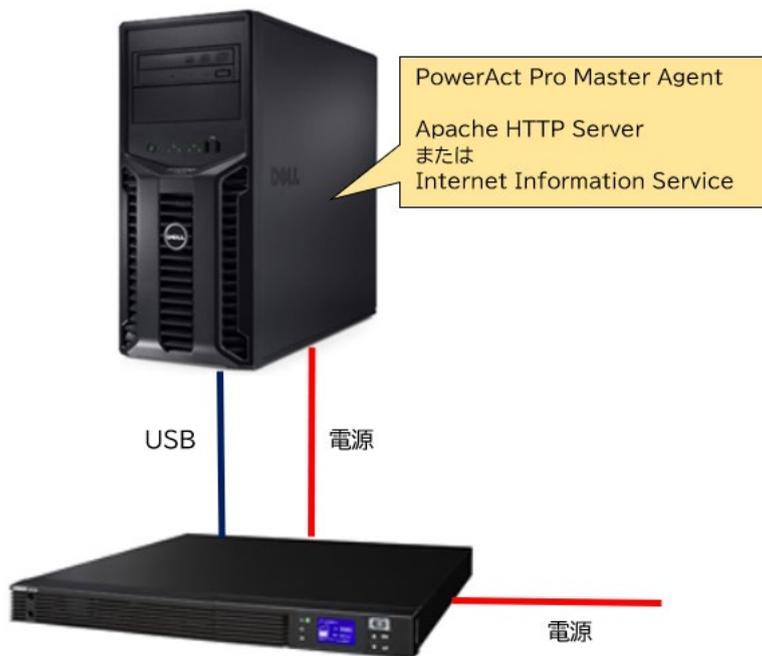
本書をご利用される場合は、以下の注意点をお読みいただき、ご承諾いただいた上でご利用ください。

- ・本書の著作権はオムロン ソーシャルソリューションズ株式会社(以下当社)に帰属します。本書の記載内容全て、またはその一部を複製や再配布することは禁じられています。
- ・本書の利用条件や記載内容は予告なしに変更することがあります。
- ・本書は、当社が把握・確認した内容を基に作成したものであり、お客様環境における製品機能の仕様や動作について担保・保証するものではありません。
- ・本書の記載内容は、本書発行時点の情報であり、製品のバージョンアップ等による機能拡張によって実際の操作手順や画面構成、機能動作等が変更される場合があります。
- ・PAPro以外のソフトウェアがApacheまたはIISを使用している場合、本書の記載内容を実行することで、PAPro以外のソフトウェアの動作に影響を与える場合があります。
- ・本書は利用者の自己責任のもとに利用されるものとします。本書の利用によりトラブルが発生した場合、利用者又は第三者に損害が生じた場合であっても、当社は損害賠償その他一切の責任を負いません。

1. 構成情報

本手順書作成のために使用した環境は以下の通り。

OS	Windows10 pro 10.0.19044 ビルド 19044
PAPro	PowerAct Pro Master Agent Ver.5.15(Windows 版) / Web サーバは Apache PowerAct Pro Master Agent Ver.5.16(Windows 版) / Web サーバは IIS
旧 Apache	Apache http Server Ver.2.4.38 (PAPro Ver.5.15 に同梱されているもの)
新 Apache	Apache Lounge VS17 Server built: Feb 9 2023 09:58:49 Server Version: Apache 2.4.55 (Win64)
ブラウザ	Microsoft Edge バージョン:110.0.1587.41
PC	DELL PowerEdgeT110II
UPS	BN75R 接続方法(USB)



2. 使用中のWebサーバの確認

PAProの画面がブラウザを使って表示される場合は、ApacheまたはIISをWebサーバとして使用しています。ApacheとIISのどちらをご使用いただいているか不明な場合は、以下の手順によりご確認ください。

ご確認くださいのは、以下の【A】【B】【C】の3項目になります。

なお、PAProの画面がブラウザを使って表示していない場合は、Webサーバは使用していませんので、本手順書によるご対応は不要です。

2.1 PAPro用のファイルの存在有無の確認(【A】および【B】)

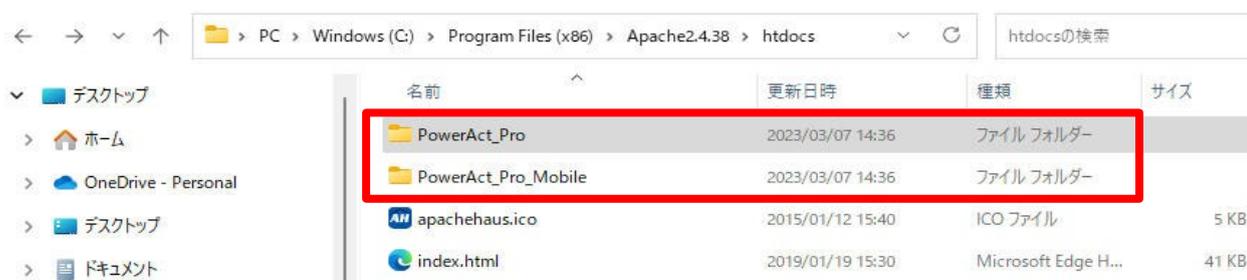
PAProが使用しているWebサーバのインストールフォルダには、PAProの画面を表示するためのファイルが存在します。そのファイルの存在場所を確認することで、PAProがApacheとIISのどちらのWebサーバを使用しているか確認できます。

【A】 Apache使用の場合に作成されるフォルダ・ファイルの有無を確認

C:\Program Files (x86)\Apache2.4.38\htdocs ※1

(PAProのバージョンが古い場合は、C:\Program Files (x86)\Apache2.2.8\htdocs の場合もあり)

に「PowerAct_Pro」「PowerAct_Pro_Mobile」フォルダが存在し、それらのフォルダにファイルが存在する場合はPAProの画面表示のためにApacheを使用しています。

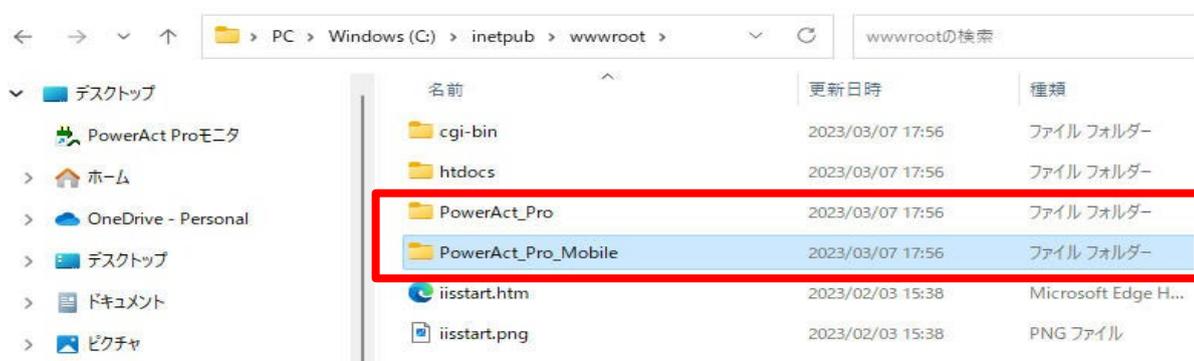


引き続き、IISのインストール状況の確認を行います。2.2にて【C】の確認を行ってください。

【B】 IIS使用の場合に作成されるフォルダ・ファイルの有無を確認

C:\inetpub\wwwroot

に「PowerAct_Pro」「PowerAct_Pro_Mobile」フォルダが存在し、それらのフォルダにファイルが存在する場合はPAProの画面表示のためにIISを使用しています。



この項目に当てはまる場合は、すでにIISを使用していますので本手順書によるご対応は不要です。

2.2 IISのインストール有無の確認(【C】)

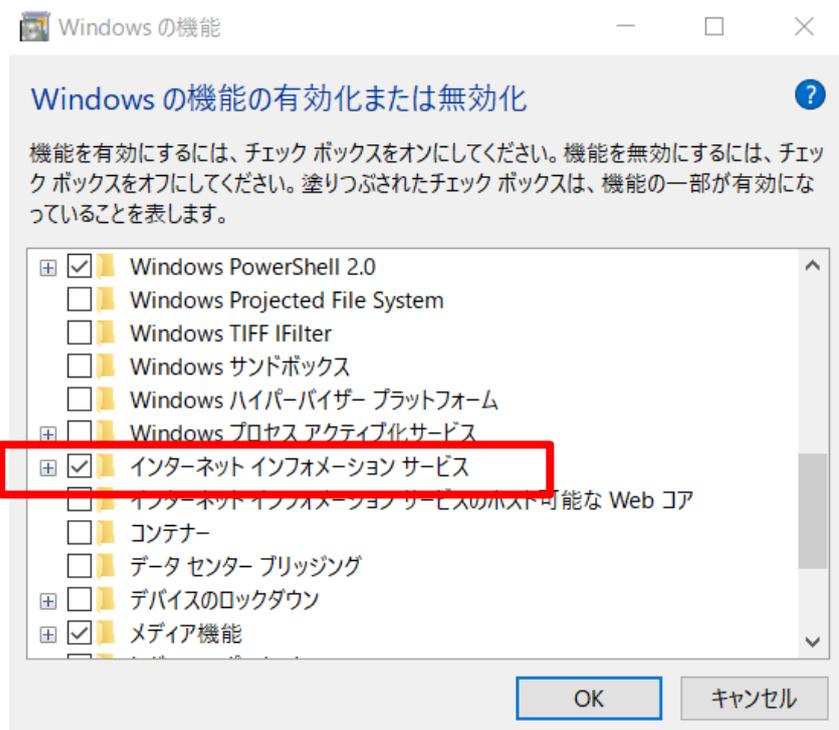
2.1の【A】に当てはまった場合は、PAProのためのWebサーバとしてApacheで使用しています。

本手順書に従いWebサーバをIISに変更する前に、すでにIISがインストールされているかどうかを確認します。

【C】 IISのインストール有無を確認

[スタート] - [Windowsシステムツール] - [コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムと機能] - [Windowsの機能の有効化または無効化]

にて『インターネット インフォメーション サービス』にチェックが入っている(有効になっている)場合はIISがインストールされています。



2.3 確認結果による判定

確認した結果により、PAProが使用しているWebサーバについて以下のように判定できます。

	【A】	【B】	【C】	判定結果	対処
ケース1	○	—	○	Apacheを使用	Webサーバなしでご使用ください。※1 ※2
ケース2	○	—	×	Apacheを使用	本手順書によりIISへ移行してください。※2
ケース3	×	○	—	IISを使用	Webサーバの変更は必要ありません。 そのままご使用ください。※3
ケース4	×	×	—	Webサーバ未使用	Webサーバは未使用ですので、 そのままご使用ください。※3

○:その項目が該当する ×:その項目が該当しない —:その項目は確認不要もしくはどちらでもよい

※1:ケース1で【C】が○の場合、PAPro以外の他のソフトウェアがすでにIISを使用している可能性があります。
この場合、PAProを「IIS Webサーバを使用する」でインストールすると、他のソフトウェアの動作に影響を与える可能性があります。このため、PAProをWebサーバなしでご使用いただくか、他の自動シャットダウンソフトをご使用ください。

※2:これまでPAProが使用していたApacheを、他のソフトウェアも使用している可能性があります。
この場合、Apacheをアンインストールすると他のソフトウェアの動作に影響を与える可能性があります。
このため、Apacheをアンインストールする場合には十分にご注意ください。

※3:Ver.5.13以前のバージョンでPAProをご使用の場合は、Ver.5.16へのアップデートをお願いします。
(PAProのVer.5.15とVer.5.16はPAProのプログラムとしては同じものですが、Ver.5.16はインストール時のWebサーバの選択においてIISのみしか選択できないように変更されています)

確認結果がケース2になった場合は、本手順書によりWebサーバをIISへ移行してください。

3. 作業手順

WebサーバをApacheからIISへ移行する場合の作業手順は以下のようになります。

3.1 バッテリ情報の確認	バッテリー情報は設定情報ファイルに含まれないため、現在の設定値を書き留めておきます。
3.2 設定情報ファイルの保存	PAProをアンインストールすると設定情報も削除されてしまうため、事前に別のフォルダに保存します。
3.3 PAProのアンインストール	PAProをIISの使用でインストールするために、Apacheで使用しているPAProをアンインストールします。
3.4 Apacheのアンインストール	ApacheをPAProでのみ使用していた場合は、Apacheをアンインストールします。※4
3.5 IISの有効化と設定	IISの有効化とPAProのために必要な設定を行います。
3.6 PAProのインストール	PAProをIISの使用でインストールします。
3.7 PAProのエージェントを停止	保存しておいたPAProの設定情報ファイルをコピーするためにPAProのエージェントを停止します。
3.8 設定情報ファイルのコピー	PAProの設定情報ファイルをPAProのインストールフォルダにコピーします。
3.9 PAProのエージェントを起動	コピーした設定情報ファイルを使ってPAProのエージェントを起動します。
3.10 PAProの画面が表示できることの確認	IISを使ってPAProの画面が表示できることを確認します。
3.11 バッテリ情報を戻す	書き留めておいた設定値を元に戻します。

※4:これまでPAProが使用していたApacheを、他のソフトウェアも使用している可能性があります。
この場合、Apacheをアンインストールすると他のソフトウェアの動作に影響を与える可能性があります。
このため、Apacheをアンインストールする場合には十分にご注意ください

3.1 バッテリ情報の確認

現在使用している UPS の使用開始日、バッテリー使用開始日、次回バッテリー交換日を確認します。

注意

バッテリー情報は保存されません。バッテリー交換時期の目安を本製品に設定している場合は、必ず、現在の設定値を書き留めてください。

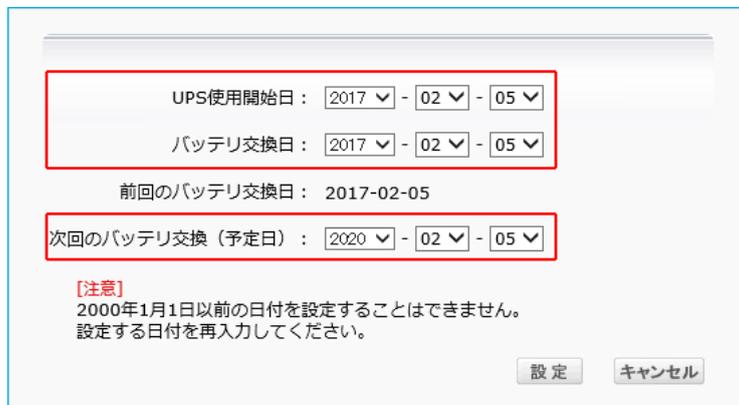
※「次回のバッテリー交換(予定日)」はバッテリー交換日の目安であり、UPS 本体が検出する「バッテリー交換表示」とは別のものです。

① デスクトップ上の PAPro のアイコンをクリックして、ブラウザで PAPro の画面を表示させます。

② [UPS設定] - [前回のバッテリー使用開始日(交換日)]をクリックします。

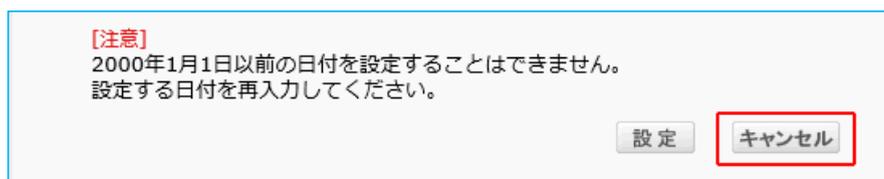


③ [UPS使用開始日]、[バッテリー交換日]、[次回のバッテリー交換(予定日)]をメモ等にご記入ください。



項目	概要
UPS 使用開始日	UPS の使用を開始した日 ☞ UPS のリプレイス検討時に使用期間が判ります。
バッテリー交換日	バッテリーの使用を開始した日 ☞ 新品の UPS の場合 UPS に搭載されていたバッテリーは「UPS 使用開始日」と同じ日に設定してください。
次回のバッテリー交換日（予定日）	次回バッテリー交換時期の目安を環境に合わせて設定する ☞ 予めバッテリー交換のサイクルを決めている場合に使用すると便利なデータです。 ☞ バッテリー寿命は使用環境や使用方法により変わりますが、目安は長寿命タイプ（4～5 年/20℃）のバッテリーで 3～4 年程度です。

④ [キャンセル]ボタンで[前回のバッテリー使用開始日(交換日)]画面を閉じ、「PowerAct Proモニタ」も閉じます。



以上でバッテリー情報の確認は完了です。

3.2 設定情報ファイルの保存

PAProをアンインストールすると、PAPro設定情報ファイルも削除されてしまいます。設定情報が継承できるように、PAProの設定情報ファイルを他のフォルダに保存します。

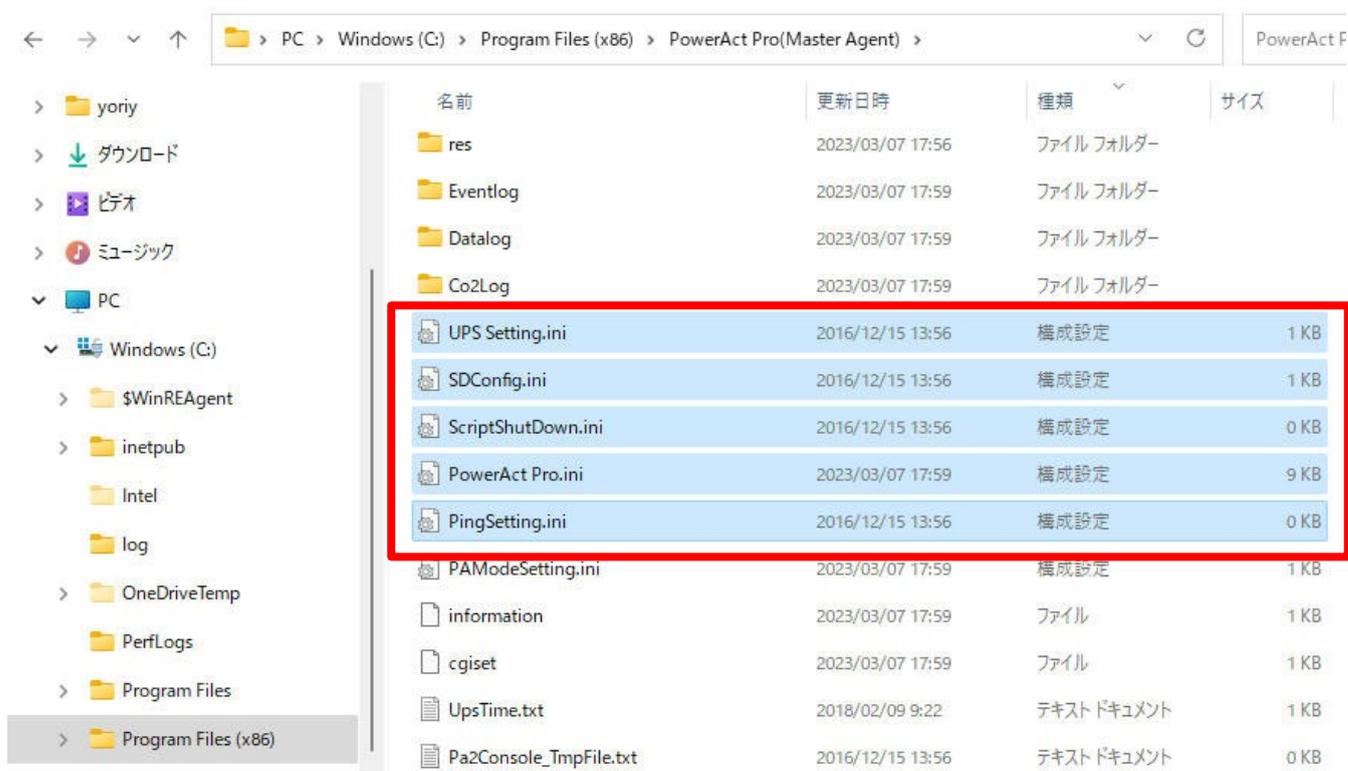
対象となるファイルは、PAProのインストールフォルダにある、以下の5つのファイルです。

- ・PingSetting.ini
- ・PowerAct Pro.ini
- ・ScriptShutDown.ini
- ・SDConfig.ini
- ・UPS Setting.ini

PAProのデフォルトのインストールフォルダは、

C:\Program Files (x86)\PowerAct Pro(Master Agent)

です。

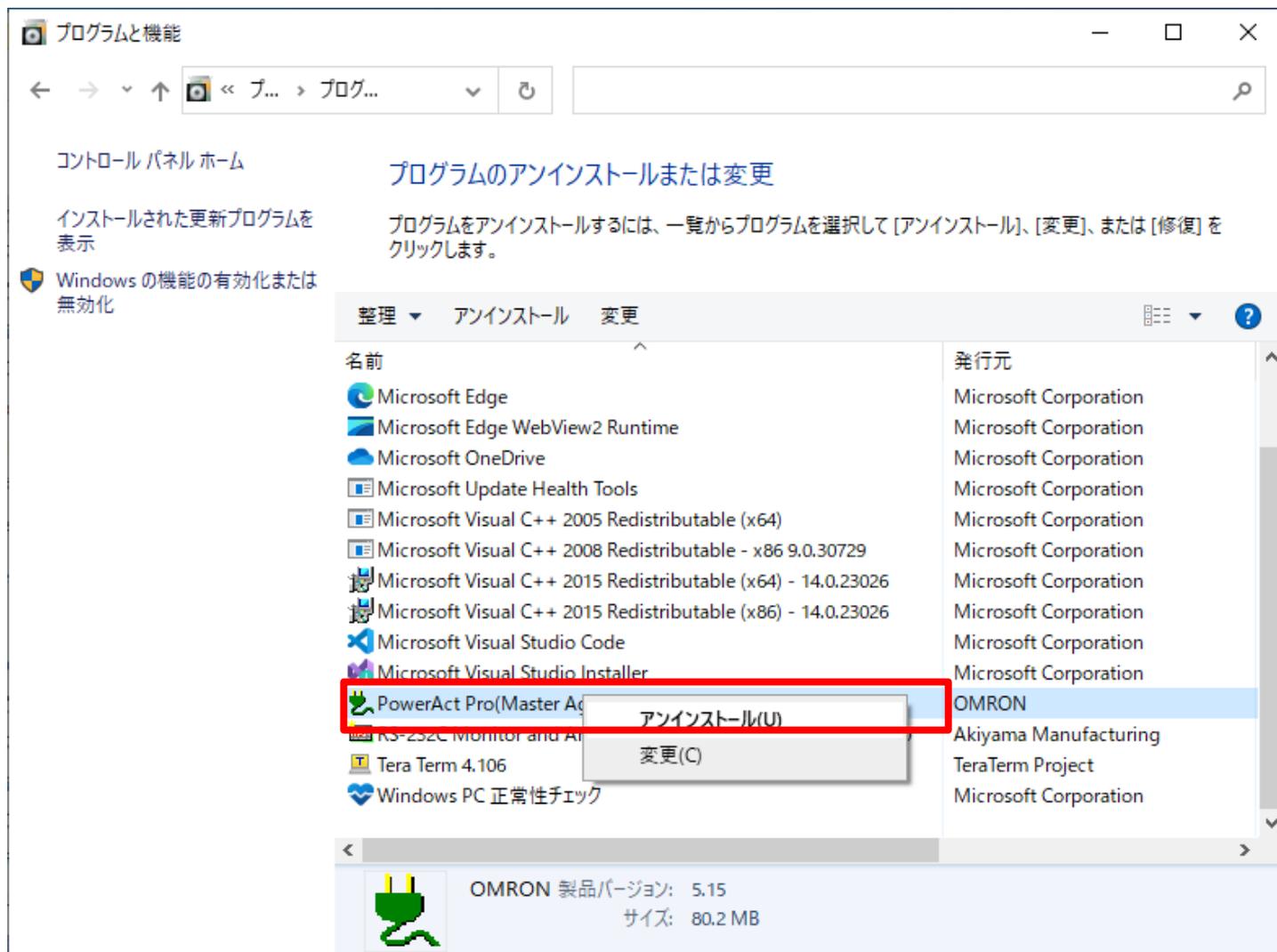


上記5つの設定情報ファイルを、任意のフォルダにコピーして保存してください。

3.3 PProのアンインストール

PProをIISで使用するためには、Apacheで使用していたPProをアンインストールしたうえで、IIS使用のため再度インストールする必要があります。

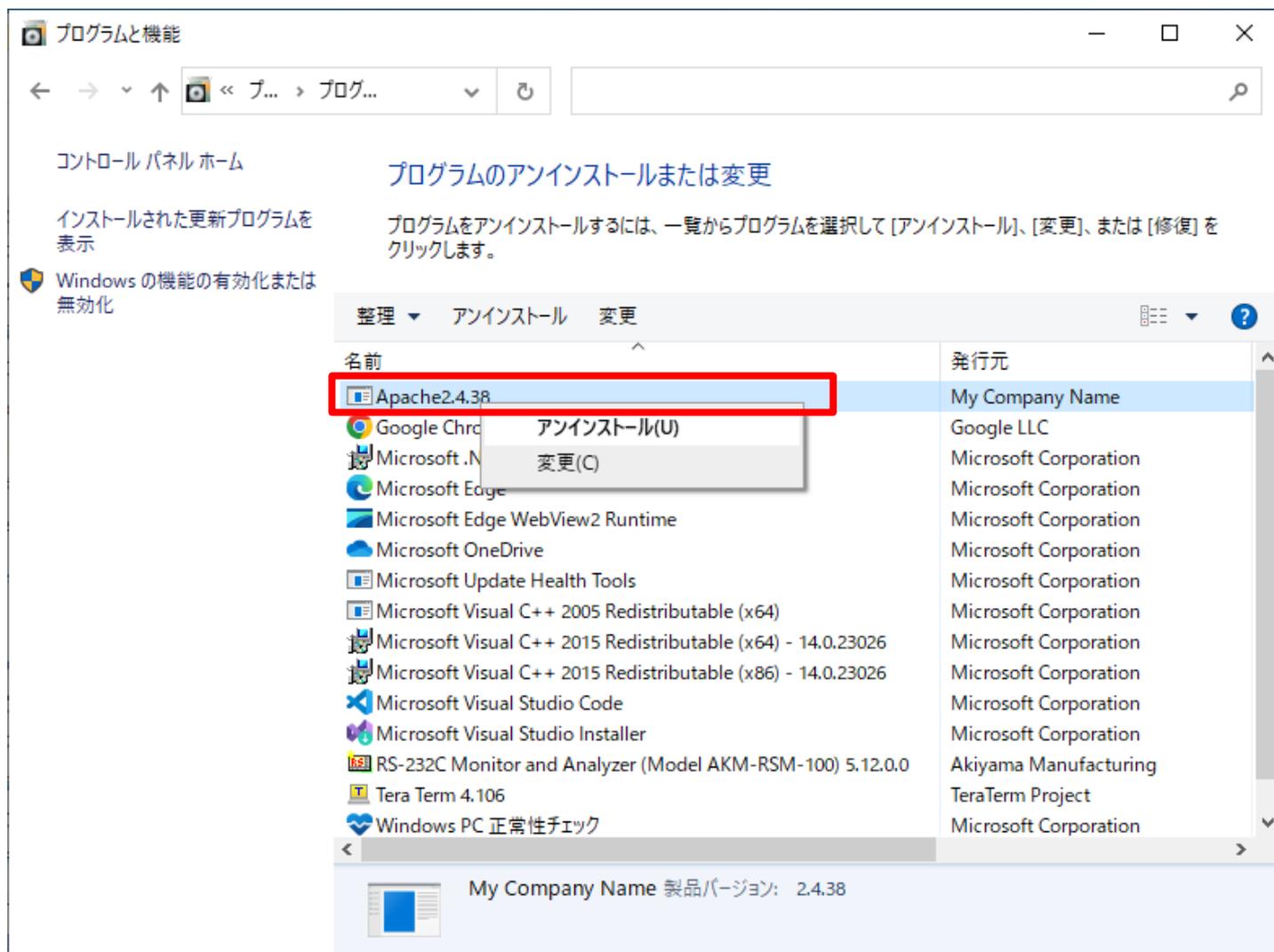
[Windowsシステムツール] - [コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムと機能]にてPProをアンインストールしてください。



3.4 Apacheのアンインストール

PAPro以外でApacheを使用していない場合は、不要となったApacheをアンインストールしてください。

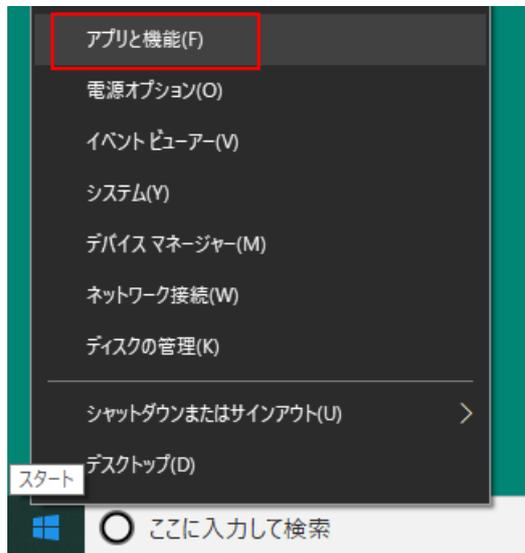
ただし、これまでPAProが使用していたApacheを、他のソフトウェアも使用している可能性があります。この場合、Apacheをアンインストールすると他のソフトウェアの動作に影響を与える可能性があります。このため、Apacheをアンインストールする場合には十分にご注意ください



3.5 IISの有効化と設定

PAProをインストールする前にIISを有効化(インストール)して、PAPro用の設定を行っておく必要があります。

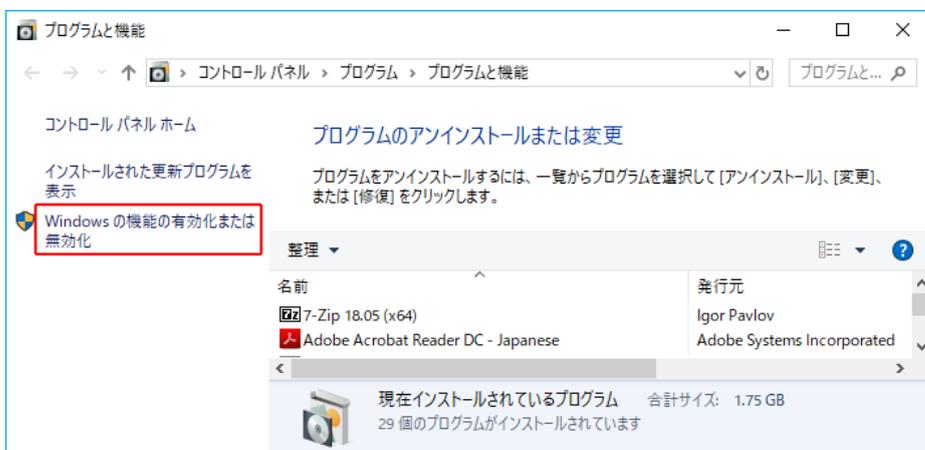
① [スタート]を右クリックし[アプリと機能(F)]を選択します。



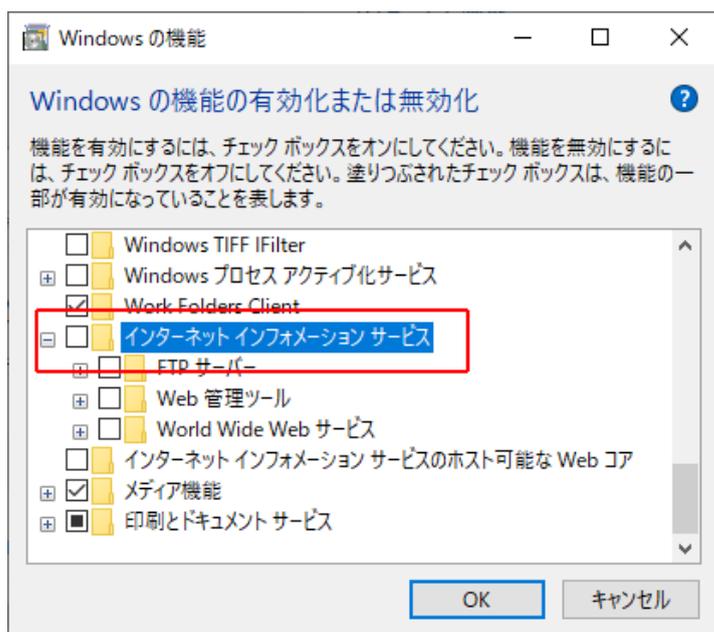
② [プログラムと機能]をクリックします。



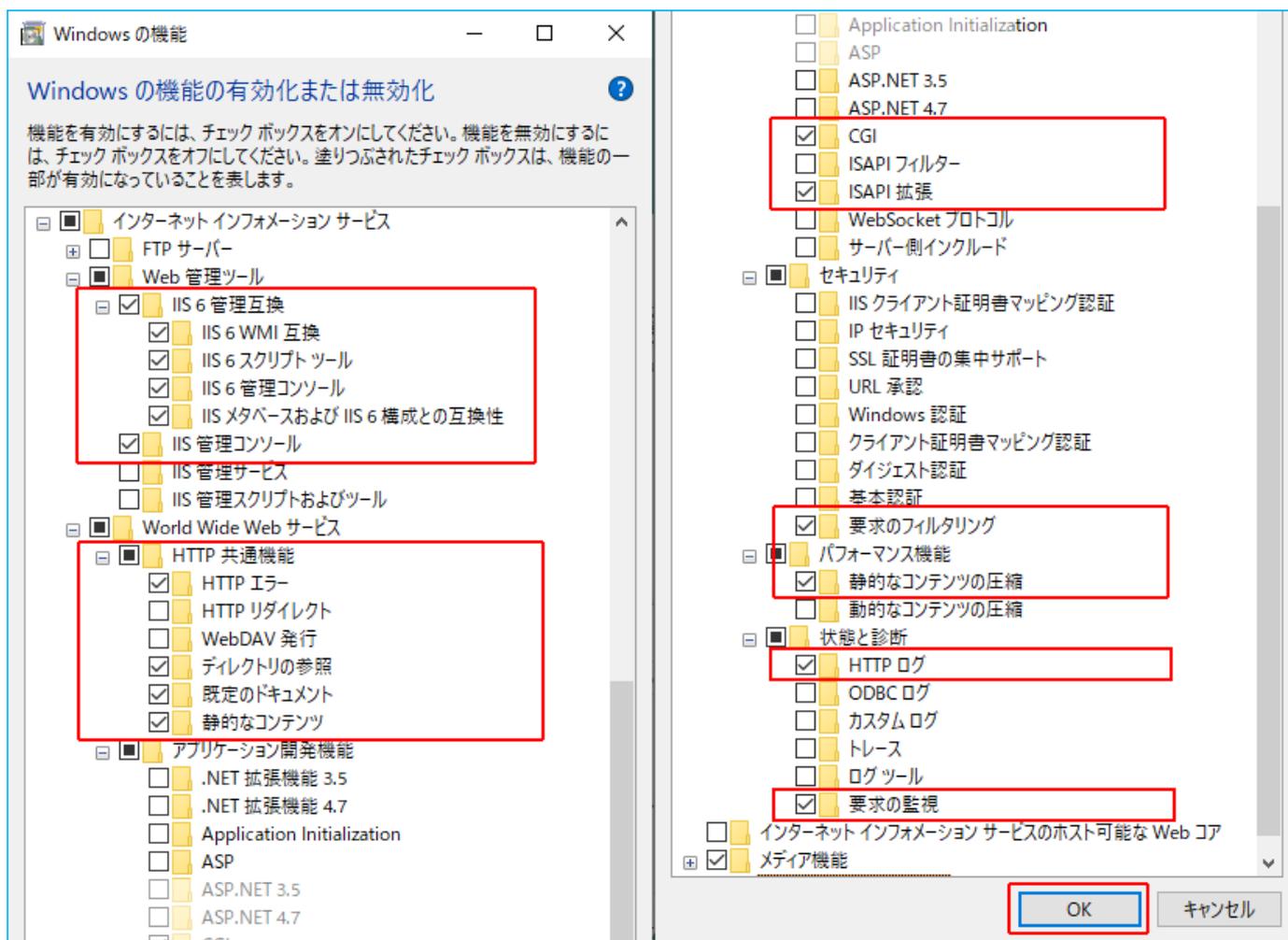
③ [Windowsの機能の有効化または無効化]をクリックします。



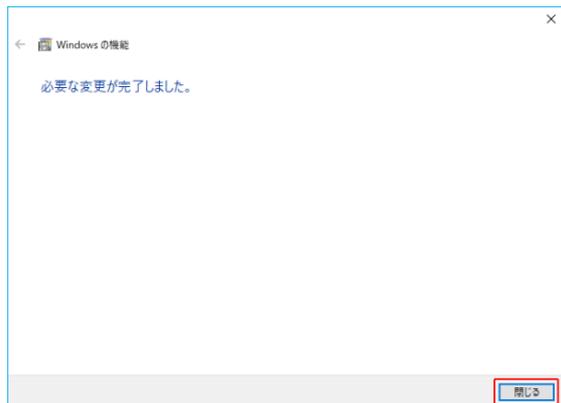
④ [インターネットインフォメーションサービス]の[+]ボタンをクリックして展開します。



⑤ 以下を参照して同じ箇所にチェックを入れ[OK]ボタンをクリックします。

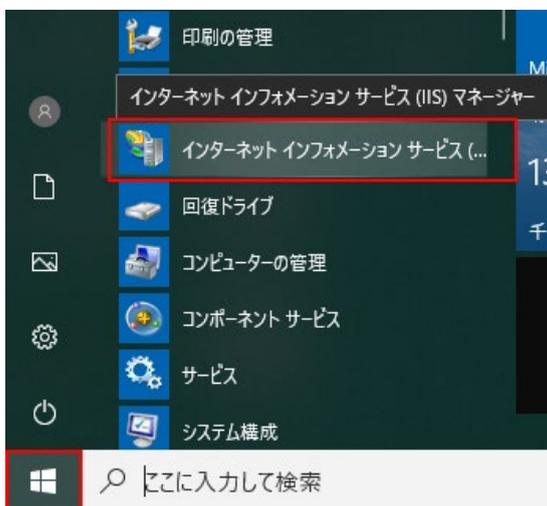


⑥ [閉じる]ボタンをクリックします。

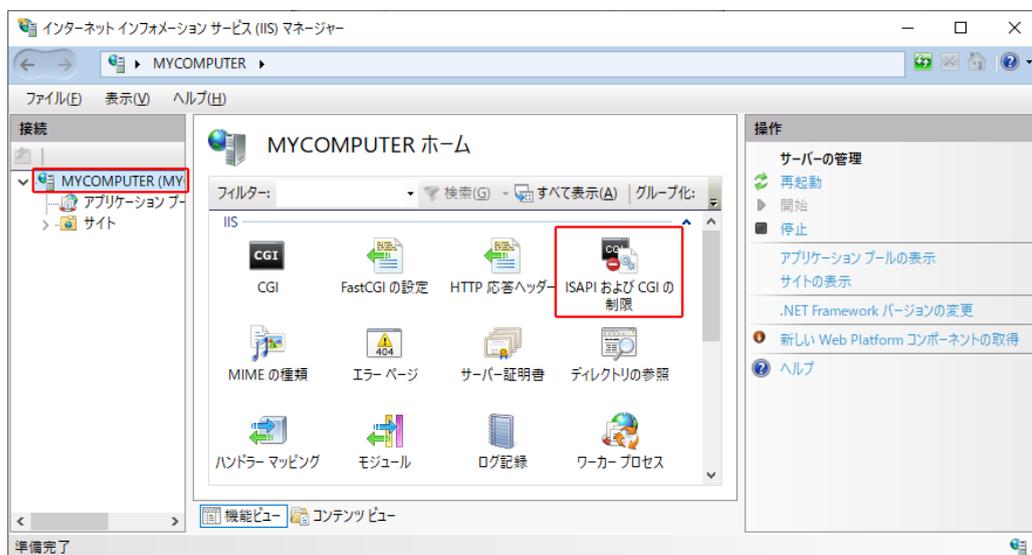


⑦ [プログラムと機能]、[アプリと機能]画面を閉じます。

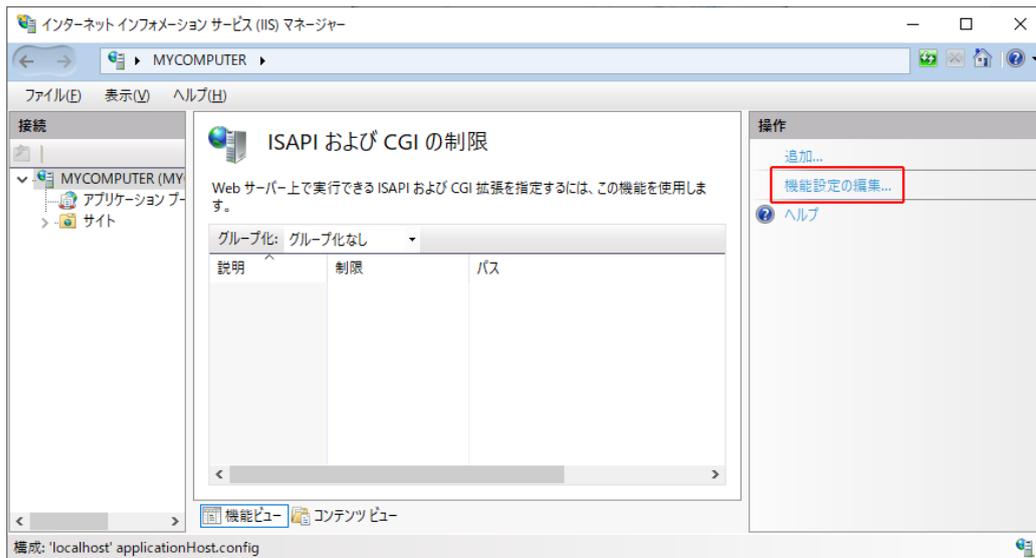
⑧ [スタート] - [Windows管理ツール] - [インターネット インフォメーション サービス(IIS)マネージャー]をクリックします。



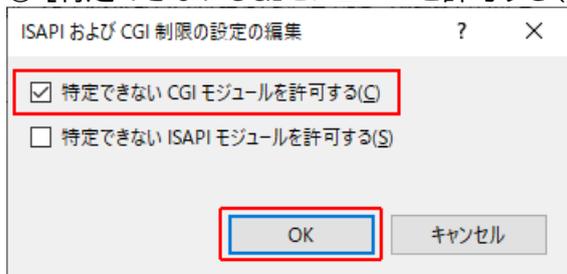
⑨ [接続]メニューでコンピュータ名を選択し[ホーム]画面で[ISAPIおよびCGIの制限]をダブルクリックします。



- ⑩ [操作]メニューの[機能設定の編集]をクリックします。



- ⑪ [特定できないCGIモジュールを許可する(C)]にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。



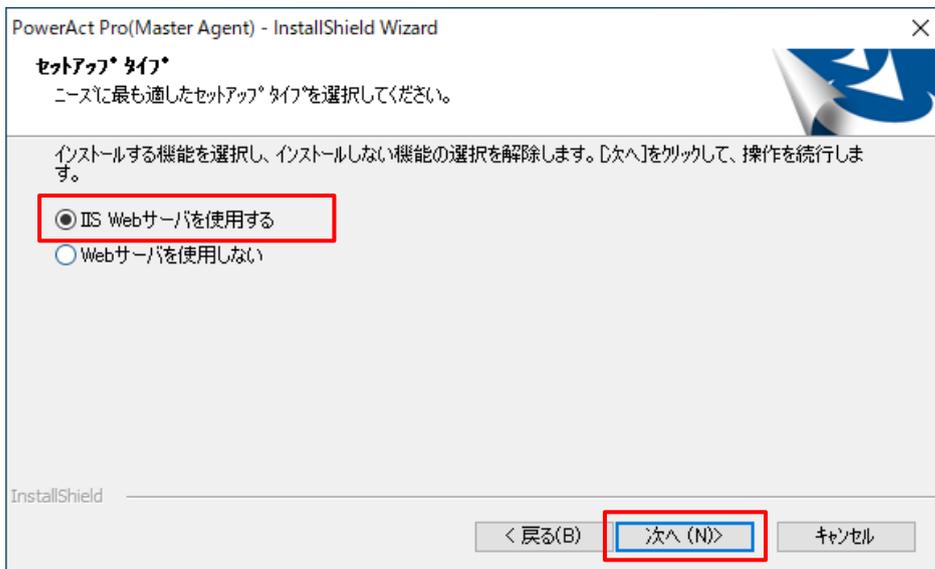
- ⑫ [インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー]画面を閉じます。

以上で、IISの有効化と設定は終了です。

3.6 PProのインストール

PProのVer.5.16をインストールします。

インストール時のWebサーバの選択画面では、[IIS Webサーバを使用する]を選択してください。



PPro Ver.5.16のインストール手順詳細については、
PowerAct Pro インストールガイド
をご参照ください。

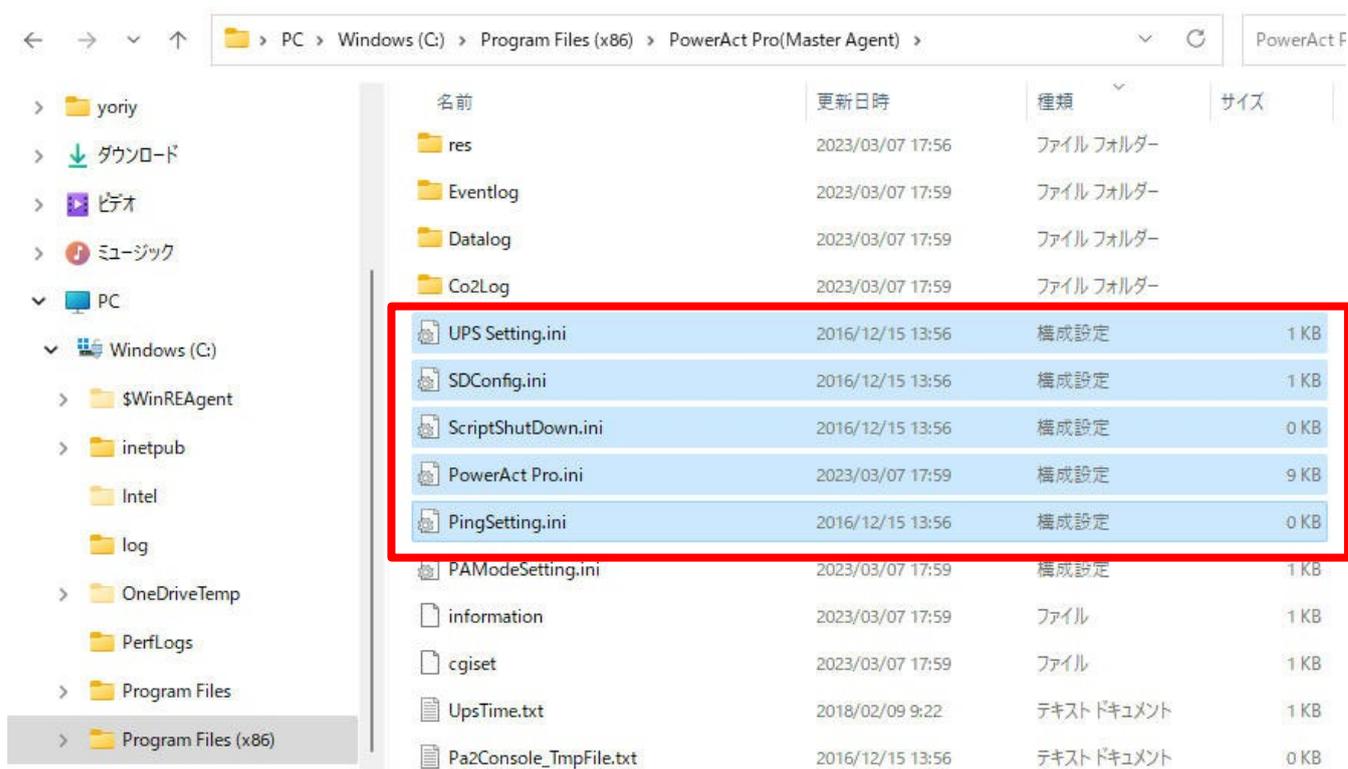
3.7 PProのエージェントを停止

保存しておいたPProの設定情報ファイルをコピーする前に、PProのサービスを停止します。
タスクトレイ上のPProのアイコンを右クリックして表示されるメニューにおいて[エージェント停止]を選択します。



3.8 設定情報ファイルのコピー

3.1で保存しておいた5つの設定情報ファイルをPProのインストールフォルダにコピーします。
PProのインストールフォルダにはすでに同名のファイルが存在しますが、上書き(置き換え)してください。



3.9 PProのエージェントを起動

タスクトレイ上のPProのアイコンを右クリックして表示されるメニューにおいて[エージェント起動]を選択します。コピーした設定情報ファイルを使ってPProのエージェントが起動します。



3.10 PProの画面が表示できることの確認

デスクトップ上のPProのアイコンをクリックして、ブラウザでPProの画面が表示できることを確認します。

The screenshot shows the Power Act Pro Monitor web interface in a Microsoft Edge browser. The address bar shows the URL: 127.0.0.1:8080/cgi-bin/information/firstpage.exe. The page features the OMRON logo and a search bar for manual agents. Below the navigation tabs (システム, ログ, UPS 設定, 手動操作, ヘルプ), the current date and time are 2023年02月16日 14:16:24, and the next battery replacement date is 2024-02-16. The previous battery usage start date is 2023年02月16日. The left sidebar contains menu items: 環境設定, スケジュール, イベント情報, イベントログ, データログ, 終了アプリケーション情報, エージェント 検索, and ヘルプ. The main content area displays system information and monitoring data.

項目	値	単位
UPS型式:	BN75R	
UPS状態:	商用運転中	
出力コンセントA (制御なし):	出力中	
出力コンセントB (制御あり):	出力中	
出力コンセントC (制御あり):	出力中	
バッテリー状態:	正常	
増設バッテリー:		
ブザー:	ならず	
ファンクションテストステータス:	する	
バッテリー自動テスト:	する	
UPSコールドスタート機能:	しない	
出力電圧/入力感度:	100V/高感度	
UPS自動再起動:	する	
通信ポート:	USB 1	
テスト結果:		
入力電圧:	102.0	V
出力電圧:	102.5	V
入力周波数:	60.0	Hz
出力周波数:	60.0	Hz
接続容量:	0	%
バッテリー容量:	100	%

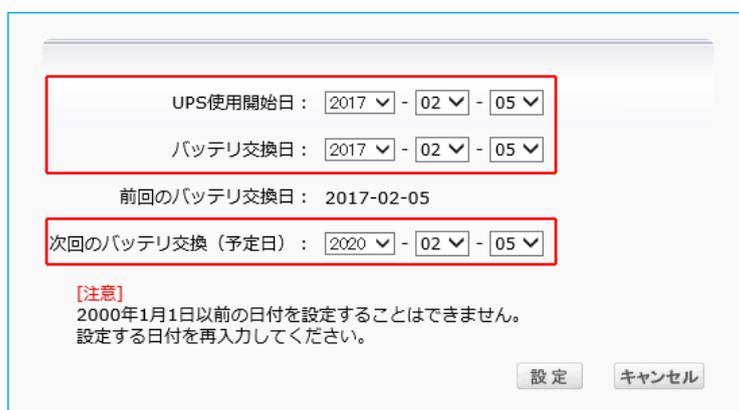
3.11 バッテリ情報の更新

バッテリー情報をP.9「3.1 バッテリ情報の確認」で書き留めた値に書き替えます。

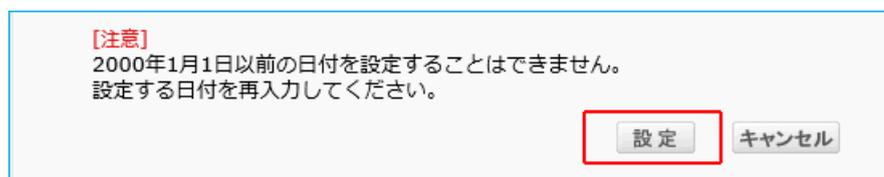
- ① [UPS設定] - [前回のバッテリー使用開始日(交換日)]をクリックします。



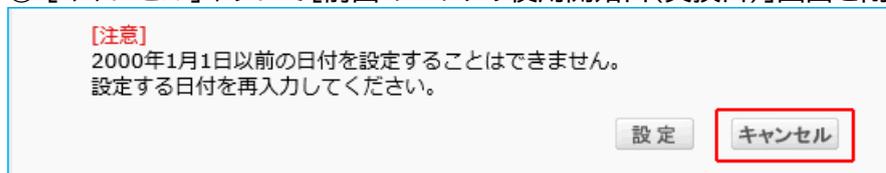
- ② [UPS使用開始日]、[バッテリー交換日]、[次回のバッテリー交換(予定日)]を元の設定に戻します。



- ③ [設定]ボタンをクリックし設定内容を更新します。



- ④ [キャンセル]ボタンで[前回のバッテリー使用開始日(交換日)]画面を閉じ、[PowerAct Proモニタ]も閉じます。



以上でバッテリー情報の更新は終了です。

以上